

3月3日 耳の日 6月6日 補聴器の日 9月9日 人工内耳の日 9月23日 手話言語国際デー



学生ボランティア
講座
35名修了

6月19日から7月17日までの講座でした。あいにく、7月3日は北九州豪雨の予報があり中止となり、全4回となりました。初めて手話・要約筆記・字幕制作に触れ、修了式の感想では、当事者目線に立った情報保障をしたい、全国障害者スポーツ大会のボランティアをしたい等意欲的な謝辞がありました。修了者の内訳は、手話通訳26名・要約筆記3名・字幕制作6名です。(7月17日)



聴覚障害者数の推移と特徴

(市町からの報告を佐賀県障害福祉課で毎年取りまとめられています。各年3月31日)

聴覚・ 平衡機能 障害	手帳所持者数				等級別内訳						
	18歳 未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
佐賀市	25	176	772	973	64	183	113	250	4	359	973
唐津市	13	119	530	662	38	122	84	110	5	303	662
鳥栖市	7	34	203	244	9	38	30	68	4	95	244
多久市	3	18	67	88	4	19	18	21	0	26	88
伊万里市	3	50	179	232	19	51	26	42	0	94	232
武雄市	9	32	201	242	0	53	33	74	4	78	242
鹿島市	3	18	98	119	5	25	10	29	2	48	119
小城市	7	44	155	206	10	47	35	38	0	76	206
嬉野市	3	16	82	101	2	22	11	23	1	42	101
神埼市	2	22	117	141	5	30	17	28	0	61	141
吉野ヶ里町	1	10	34	45	9	10	7	9	0	10	45
基山町	0	15	32	47	6	13	2	9	0	17	47
上峰町	0	3	24	27	2	6	3	2	1	13	27
みやき町	3	14	109	126	3	30	12	26	2	53	126
玄海町	1	1	25	27	0	3	2	10	0	12	27
有田町	4	19	87	110	6	24	16	23	0	41	110
大町町	1	6	45	52	2	14	3	13	0	20	52
江北町	1	10	37	48	1	6	8	18	0	15	48
白石町	3	13	107	123	4	20	12	43	1	43	123
太良町	1	6	39	46	1	11	5	14	0	15	46
合 計	90	626	2,943	3,659	190	727	447	850	24	1,421	3,659
比率(%)	2.5	17.1	80.4	100.0	5.2	19.9	12.2	23.2	0.6	38.9	100.0

- ・平成15年以降総数は3600人台で推移 総人口は減少しているので実質増加している。
- ・級別では1～2級(ろうあ者)が917名で減少傾向続く。
- ・6級が一貫して増加傾向、加齢性難聴等。

シリーズ (21)

山口相談医のひと言コメント

ジャパントラック 2015 について(そのV)

前回は補聴器をしてよかったという点でしたが、今回は補聴器への不満についてです。

アンケートで補聴器を使わない理由を尋ねたところ、「煩わしい」「元のように聞こえない」「騒音があると役に立たない」などが上位に来ています。また「使うのが恥ずかしい」「難聴であることを公にしたくない」という理由もありました。

対象を「補聴器を持っている」のに「使わない人」にすると、「元のように聞こえない」「煩わしい」が上位でした。そのほか、あまり役に立っていないことが挙げられていました。「煩わしい」の中身としては「まだ必要ない」「使うと痛い、大きすぎる」「装着や調整(が煩わしい)」「不快な音や騒音」「カッコが悪いし、恥ずかしいし、そう思われたくない」などがありました。

これらを見ると、「難聴であることが恥ずかしい、知られたくない」「うまく機能していない＝調整の不適合」「大きな期待＝若い時のような聞こえ方を期待」と言ったことが見えてきます。実際の診療でも「聞こえはよくしたいが、補聴器なんかしたら、老人みたいだし、聞こえにくいことを周りに伝えたくない」という意見はよく耳にします。極端な場合は「補聴器は障害者」という声もありました。残念な意見だと思います。

また、「元のように聞こえる」というのは確かにそうありたいのですが、補聴器も万能ではありません。過大な期待のため、せっかく残っている可能性まで諦める事がないように考えていただきたいと思います。確かに補聴器は調整が難しかったり、騒音下では有用性が発揮できないこともあるのですが、補聴器を育てるつもりで、微調整を繰り返して、今ある聴力を最大限活用していただけたらと思います。



7月21日投票の 参議院議員選挙政見放送 に手話



佐賀選挙区の政見放送に、政党の候補者の選択により手話通訳が初めて付与されました。

佐賀選挙区には2名の手話通訳士がそれぞれTVの政見放送を行いました。

聴覚障害者雇用企業情報交換会

就労継続支援B型事業所吉野ヶ里の牛島寿美子管理者が、聴覚障害者6名を含め利用者登録22名で企業からの受託作業、ぶたまん製造販売の就労状況、ケース毎の支援状況について講演。出席企業と、情報保障・個別の相談対応についての方法等に突っ込んだ意見交換がありました。(7月25日)

『人工内耳で聴こえをとり戻そう』

聴こえのセミナー (7月28日)

聴こえのセミナーに約60名が参加、鹿島市織田病院の小宗静男先生(九州大学名誉教授)が、「人工内耳の手術やリハビリがされない全国唯一の県だったから是非貢献したいとの思いで佐賀に来た。言葉を失った期間が短いほど良いので、人工内耳等の相談にまず来てください。」と呼びかけました。



要約筆記者養成講座≫ (要予約)

9月19日(木)～令和2年2月27日(木)

会場：みやき町中原庁舎

(申し込み締切日9月12日)

巡回聴こえの相談≫ (要予約)

8月21日(水)午前10時～午後3時

会場：白石町社会福祉協議会
(旧有明町役場)

9月17日(火)午前10時～午後3時

会場：太良町総合福祉保健センター
「しおさい館」

巡回聴こえの相談 in 相知支所 (7月16日)

60歳代から90歳代まで10名が、聴こえの相談を利用。主に社会福祉協議会主催のサークルに参加されている方が、騒がしい場所で言葉の聞きとりにくさ、自分の聴力や補聴器について相談されました。聴力測定の結果を詳しく説明し、必要に応じ補聴器試聴の案内なども行いました。

編集後記：佐賀城下の花火大会、きれいでした。日中の暑さは少しやわらいで、楽しめました。(m)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日